



誤字
改正

消息從來稿抄

全





新刊
西點

消息往来画抄序



此出ら童蒙とて見安のる人病とて友香高南可と
いえる人高貴徳来の画字引以著多ると又了極元
志ねりお余お希ふて消息往来画抄と著あり漏る
候本本の作者とてゆえに消息往来画抄と見ん人々童
蒙の文学讀引の爲とてししゆきたまふりしと

系指文桐刺南窓に採葺

文久改辛酉初夏

論高主人就述



新刊 消息往來函抄

東都京橋市隠 三世 十返舎一九著述

凡消息者通音倍迫

和



丸二

遠國不限

何事人間第用達之

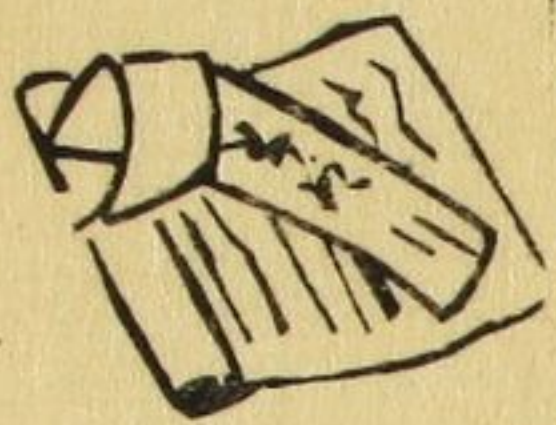
元也



先書快紙

取扱文字一筆踏上

仕致倍達合踏以手紙



あねあつとく

あつあつとく

あつあつとく

あつあつとく

あつあつとく

あつあつとく

あつあつとく

あつあつとく

あつあつとく

あつあつとく

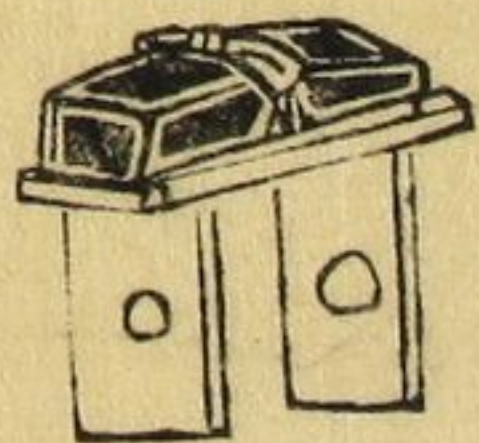
あつあつとく

あつあつとく

あつあつとく

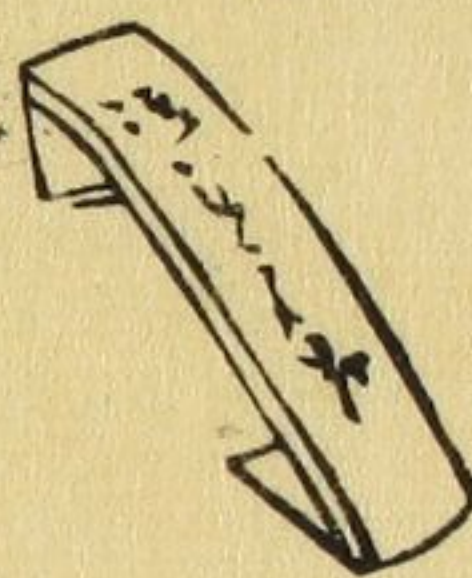
あつあつとく

中入言書言符



貴書

生札沙状芳



墨芳简法纸面涉剪

纸年見

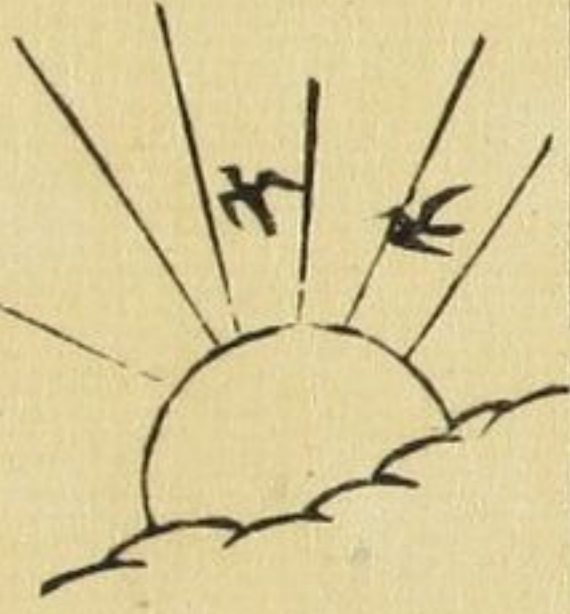


好備披備

披見披閱各一覽時作者

但四季春を紙を春空

未運過日



春暖暖

氣長閑廉嘗能夏を



生目亦亦也

美の目より下り風があつても

四月六月と

薄暑うすあつ向晴むかひはる

四月のあつたあつ

向ひあつとき



去用きりよう合あひ

去用のあつたあつ

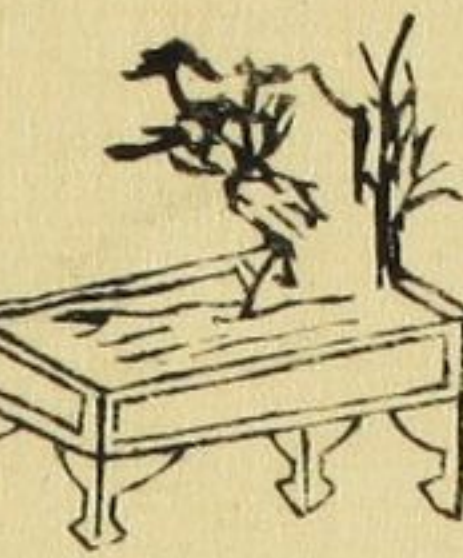
甚暑しんあつ嚴暑げんあつ極暑ごくあつ者もの難たがひ凌しのぎ

甚いあつたあつ

甚いあつたあつ

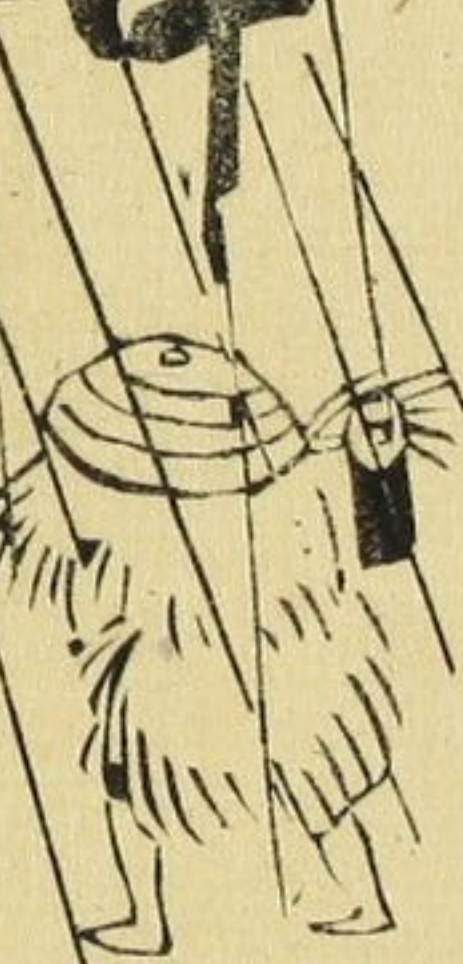
あつたあつたあつ

あつたあつたあつ



入梅中いりばなちゆう

梅のこをむすあつたあつ



不勝ふしょう之の

あつたあつたあつ

天氣てんき將まさ陶たう炭たん材ざい者もの殘ざん

けしきあつたあつ

あつたあつたあつ

七八九月あつたあつ

あつたあつたあつ

暑あつ秋あき晴はる柱はしら冷ひや相あひ僅ひよ冷ひや氣き

あつたあつたあつ

あつたあつたあつ

あつたあつたあつ

あつたあつたあつ

あつたあつたあつ

相あひ券けんお増おぞう

あつたあつたあつ

あつたあつたあつ



冬ふゆ

十一月十二月

寒あつ冷ひや向むかひ寒あつ志し寒あつ嚴げん寒あつ

あつたあつたあつ

あつたあつたあつ

あつたあつたあつ

あつたあつたあつ

候あつたあつたあつ得え在あつたあつたあつ作あつたあつたあつ変あつたあつたあつ御あつたあつたあつ前あつたあつたあつ様あつたあつたあつ

あつたあつたあつ

あつたあつたあつ

あつたあつたあつ

上様



益涉機埴

結被遊沖雁為入跡

沖勇健法安泰安金

壯健安寧梁固梁務

空事息災無別象

皇御智無古障言前

貴公法手前換考指

由自分至元考度也扱又



上様御下

御下

御下

御下

上様御下

御下

御下

御下

公家くけ

きよしのひまふ



武家ぶけ

ぶけ



大名おん

おん

各所あまびあ 藩はん 本ほん



自國みくに

他國たこく

よそのくに



在番ざいばん

まはるるをんあある



在府ざいふ

おえの府あある



交代かうたい

うらりくとりあ



沙さ

勅仕しゅくし

つとめるえ



油著あぶら

あぶら



沙凌さろう

のうらりあ

御厭ごえん 出揃いしゅり

うらりあ

いしゅり



忠悦ちゆうえつ 目め

あまのうらりあ

大慶たいけい 大悦たいえつ 忠ちゆう

あまのうらりあ

あまのうらりあ

あまのうらりあ

あまのうらりあ

大悦たいえつ 忠ちゆう 油あぶら 足あし 量りやう

あまのうらりあ

あまのうらりあ

あまのうらりあ

あまのうらりあ

一服 欣然 重疊 仕合 禮



祇候 沖目 見



空滞 空運 却合 結首 尻克

社為 海結 捧沖 結之 沖

意 被象 仰 結 付

涉 深 志 出 然 意 預 出 厚 情

冥加 玉 柄 難 有 右 入

身 畏 示 辱 牙



うとまらひてい

身小あうが



えんて

うら

か

う

ま

つ

よ

ら

た

り

こ

の

の

そ

い

お

ま

あ

の

う

あ

ね

わ

今般今夜以夜考先年

こんばんこんど

こんどお月ト

せんせんせん

去年先月去月先頃先

きんせん

せんせん

せんせん

達日月外那夜今晚

たつひつそと

あつひのあつひ

こんばん

今朝晴着昨今以間を後

けふあつひ

けふあつひ

あつひのあつひ

其以後主以来尔来明日

そのちあつひト

そのちあつひト

そのちあつひト

あつひのあつひ

明後日翌朝每事皆廣

あつひのあつひ

あつひのあつひ

あつひのあつひ

前廣也行幸

まへひろ

まへひろ

まへひろ

還幸還沖出沖光際入

まへひろ

まへひろ

まへひろ

まへひろ



天のあつひ

天のあつひ

天のあつひ

天のあつひ

河内入来河内出来駕

河内

河内

狂言曲法行舞文行

狂言

曲法

行舞

文行

将又与又纯若随百片牌

将

又

与

又

纯若

飞去右へ鞭け限也得生

飞去

右へ

鞭け

限也

得生

意度可い由さ如作如卷

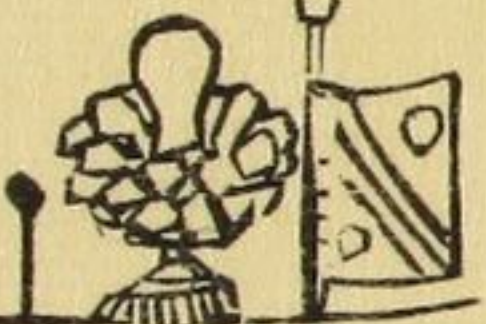
命如来と当地



爰元甚表江戸系



大坂



奈良



大和古く始あり

懐伏見

長清

甲

府

駿府山田

日光

浦賀

蝦

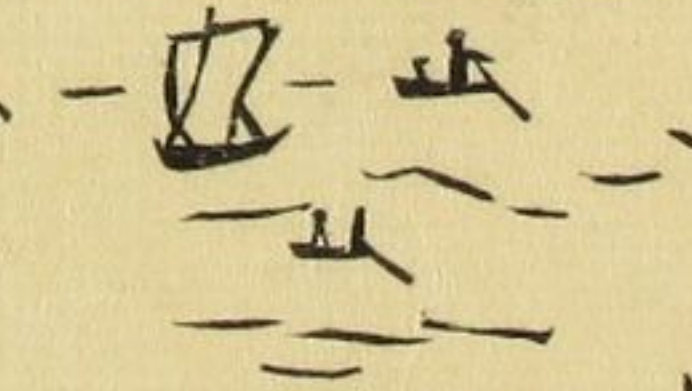
次

静

徳

平

兵



無難

思石

絶食

角

法外

トウ

トウ

トウ

トウ

トウ

トウ

事無多言彼是混雜

容新

所安否窺



不取約束



約

諾延



後悔



失禮



濟免市用捨

以看如不似也自然勿端

柳波石常石毛頭粗略

簾息簾末不皆



あしきこと

あしきこと

不來念頃入魂心底睡安

如在外步無仍或教之活

既況剽忽忽卑速俄即

席已別為急相候

本といふむち

とうあびん

ほひあふちり



對候挨拶



會款茶

和姿乞



振舞

招清信待出招月侍



日侍



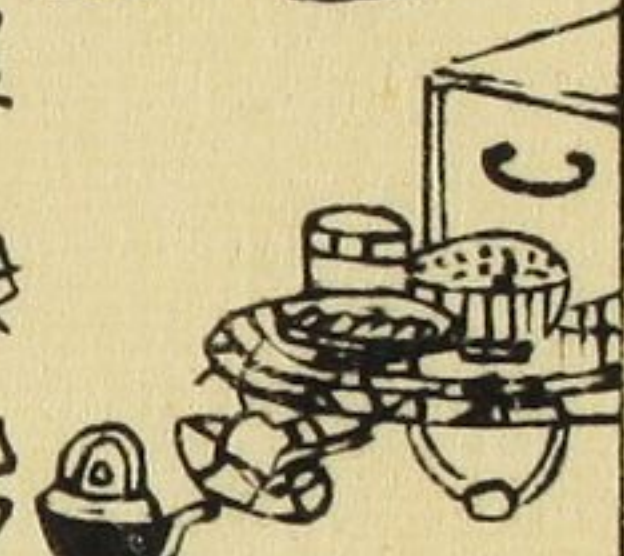
寄合



茶會

まらあふち

遊山



遊山

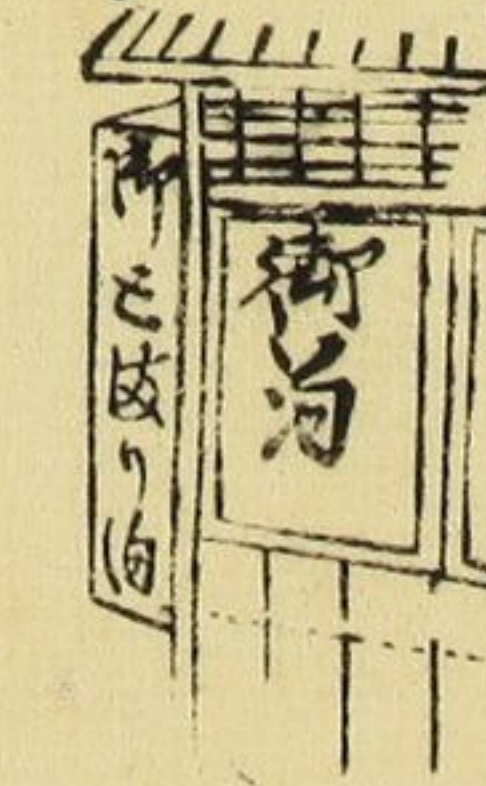


遊山



樂由宅歸宿在宅私

宅拙宅蘭道為泊



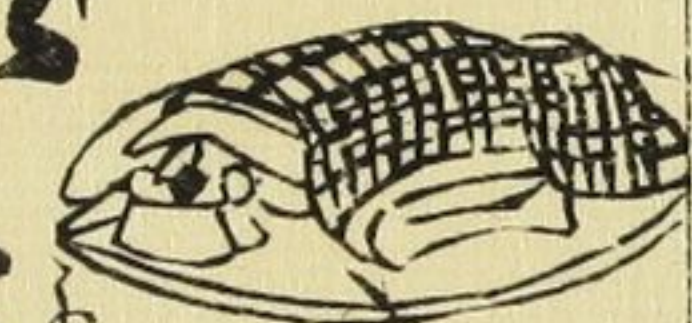
迎屋



窮居疲勞



中茶外也



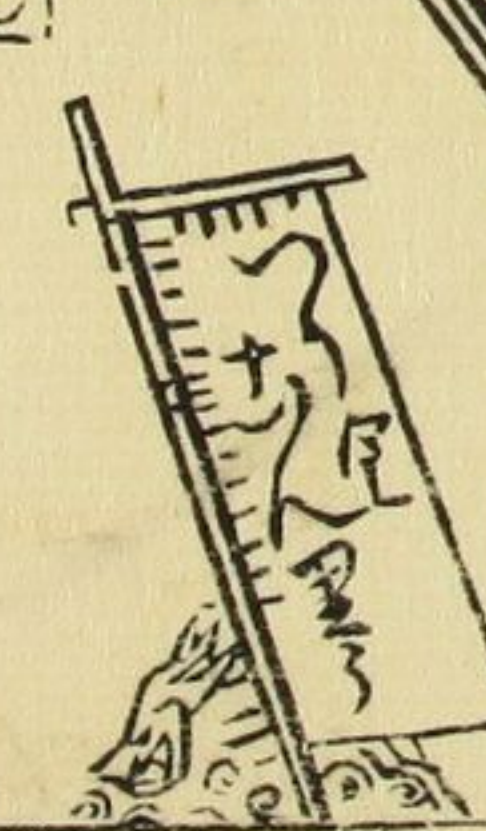
号宅麦宅

別荘在在作書信



造

化修後造管建立



棟上



移汽紙安網安

切母

あけ

あき

あき

名昌 名業 名久 名家 名智

名のあやうなるあり

名のあやう

名のあやうなるあり

名のあやうなるあり



相續 隱居



送 徳

婿 姻



解 入



腰 胎

妊 娠 忌 第 延 生

妊のあやうなるあり

妊のあやうなるあり

妊のあやうなるあり



清 障

天子のあやうなるあり

延 出 若 生 安 産

天のあやうなるあり

天のあやうなるあり



初 女

初のあやうなるあり

成 長 成 人 若 冠 若 年

人のあやうなるあり

人のあやうなるあり

二十をいふこと

充 年

六十をいふこと



充 後 意 用

六十のあやうなるあり

六十のあやうなるあり

後 乃 女 智

六十のあやうなるあり

六十のあやうなるあり



利 口 家 業

六十のあやうなるあり

六十のあやうなるあり

家穢



稼



肯打励

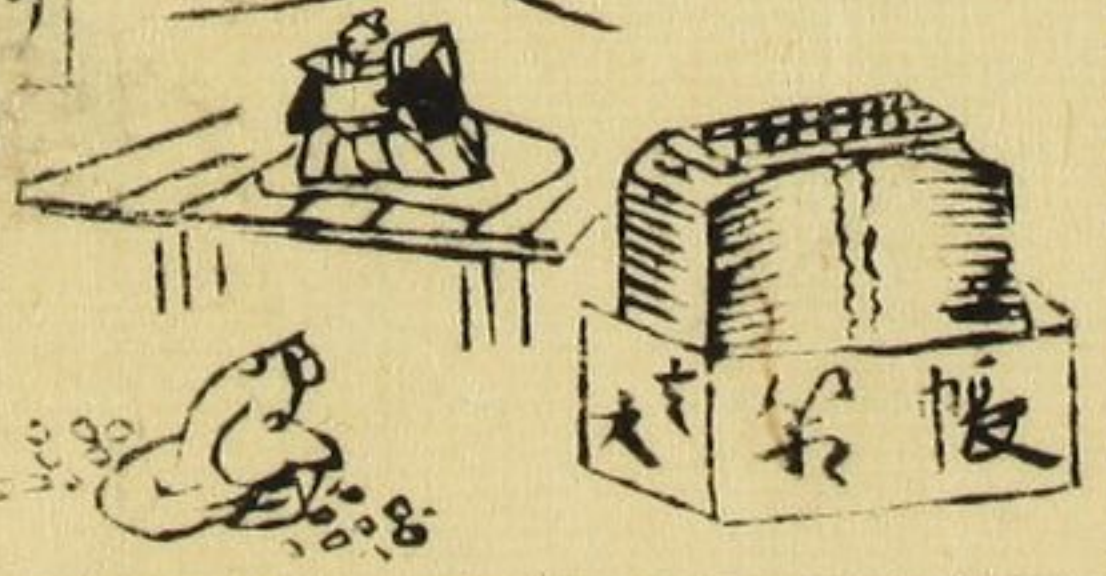
忘悔怠 忘油断 俭约 勤畧

始末 劫定



筭用

費失 墜去 沈复 穿斲



更議 吟味 裁辨 公事 一併

損



徳者



高

現金 惣出 賣買 拂底 不

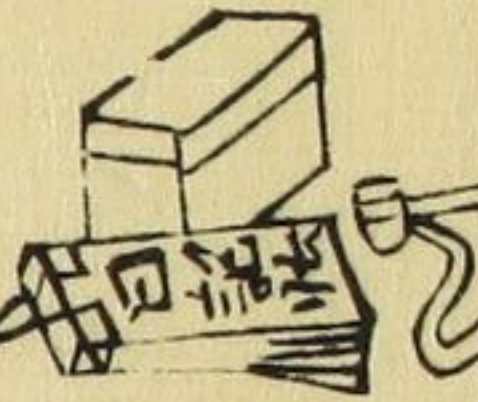
系氣 不致 合貸 借取 卷日

現金

合貸

借取

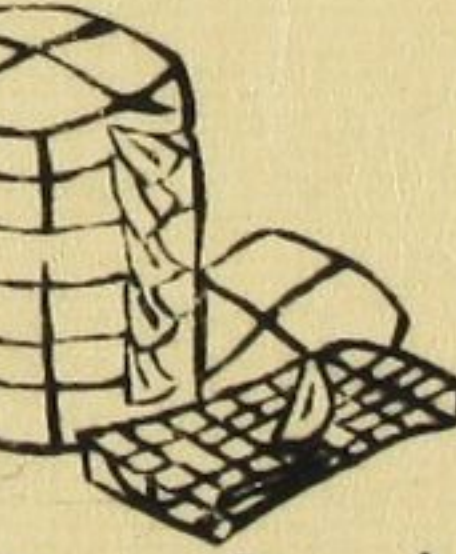
紙



後交渡文入札

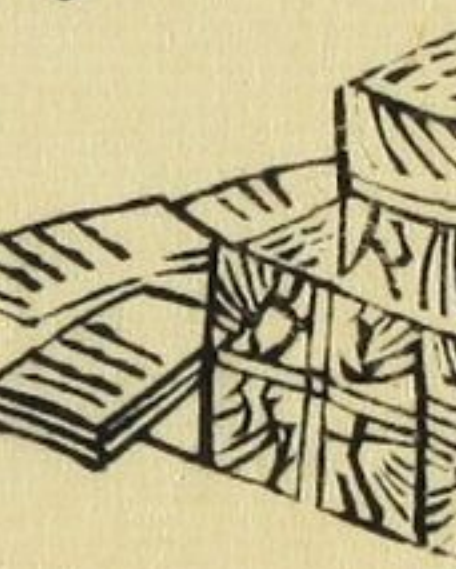


送状手形貨物



支替

為替仕入



金銀両替

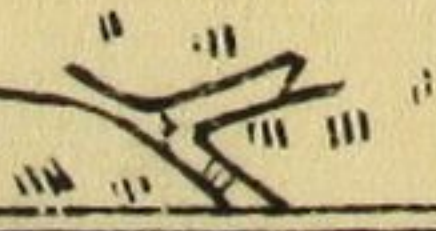
再三毎夜物言度々僅儀

併依心忒遲速綿繒糸綿

年貢



皆漁田畑



令納を大判



小判



永文徳後也



結宿

人全きるをみるの

つ子の妙をらふ



發足 はつそく

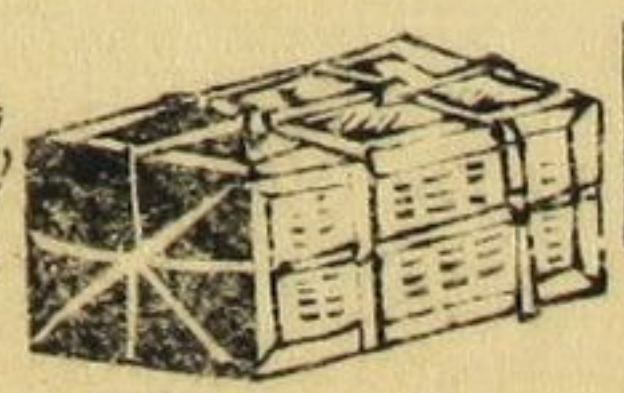


發行發 はつしつはつ

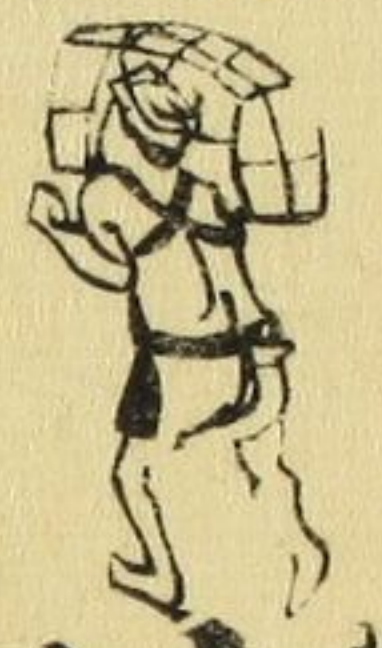
駕支夜用意 かぢやよ用意 荷物 にものつ

カヂヤヨウイ

ニモノツ



運送 うんそう



持運 もちうん

猪途 ぶと 日雇人 ひよめびと

ブト

ヒヨメビト

ヒヨメビト



借 か

遠 とほ

馬宿 まじやく



結賃 むすばい



酒代 さけしろ



往還 むかう



往來 むかう

途中 ちゆうちゆう 不圖 ふと 不計 ふけい 不存 ふぞん 寄道 きどう

途 ち

途 ち

途 ち

途 ち

途 ち

ちゆうちゆう

ふと

ふけい

別喧嘩



口痛



物言事平等平生急度

ふとこをたあふそひまらふとふ

あつてびじうあふそひ

嚴家可慎嚙分別了簡

こころいこふとふ

ふねまあること

ふねまあること

はつらうとむのゆあせうつて

あつてびじうあふそひ



堪忍



格別格外

こころいこふとふ

あつてびじうあふそひ

あつてびじうあふそひ

不思議な天気故

こころいこふとふ

せういあふそひとてんきとふ



歩行



我侘

あゆむとふとふ

えのゆくとふとふ



一團

あつてびじうあふそひ

勝手白昼夕陽羨望落

こころいこふとふ

まひらあり

ゆのひあり

日へて羨望とふとふ

あつてびじうあふそひ

嘗

こころいこふとふ



入相

あつてびじうあふそひ



青深

あつてびじうあふそひ

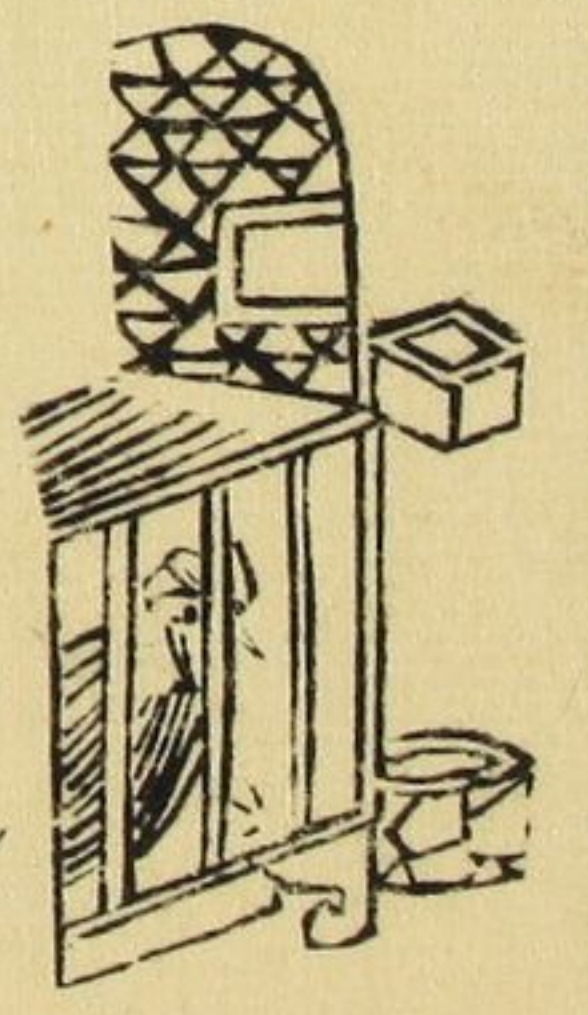
あつてびじうあふそひ

夜更家法曉進

よるよりあけ

よるのふゆ

あけつゆのあした



放得教授不用也學問

ほうとく

たうたう

おぼゆる

まじり

武藝



素續柄

あつむ

續

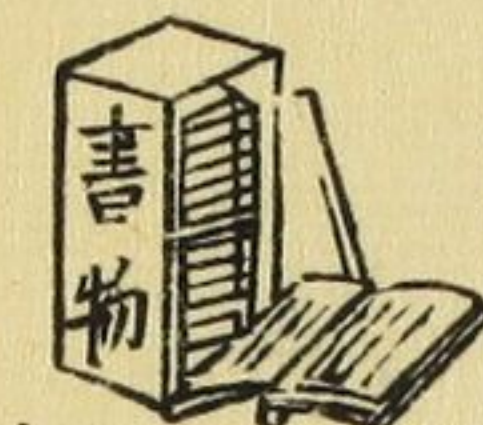


手習

あそび

諸禮

あつむ



そとく

行儀作法舊古修

まじり

あつむ

くんが

あつむ

行世失念支離

まじり

あつむ

あつむ

あつむ

あつむ



病

身世活た女家内親類

あつむ

あつむ

あつむ

あつむ

あつむ

一家一門親族縁者後類

あつむ

あつむ

あつむ

あつむ

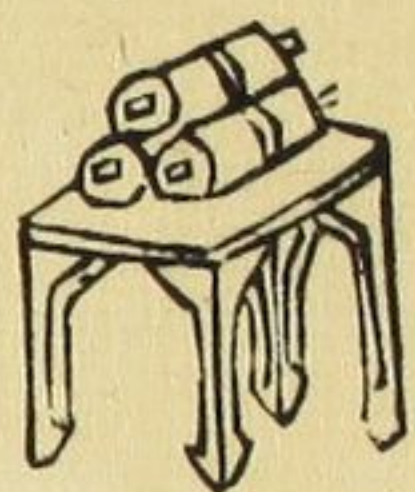
あつむ

あつむ

あつむ

あつむ

由緒ゆい



券属家来けんぞくけらい



百仕ひゃくし

僕婢ぼくべい

朋友ともだち 倚靠よりかか

主君しゅくん 后下ごげ



所範しよはん 所しよ

函遠くわんえん 发古物はつこぶつ 在津ざいしん 遠由えんゆ

安河あにがわ 活济かつけい 安音あにん 背そむ 本意ほんい

氣き 毒どく 笑止せうし



迷めい 然ぜん

活かつ 尤ゆ 頑がん 身み 内うち 鬼おに 舞まい



飛脚ひきゃく



至いた 為な 死し 札さし 別わか 来き

口使れ者使若者使口上

使若とて之を狀とすの如く是るやまの如く

あふつろこ

のふあける



口演辭儀

そのあし

おのゝとあし



口使者顔

そのあし

そのあし

年顔者顔者面面相見

相いあがむあり

そのあし

そのあし

そのあし

態身内之勢也清氣落手

そのあし

そのあし

そのあし

そのあし



交納者意以砌甚也

そのあし

そのあし

そのあし

河太使若芳

そのあし

そのあし

雅潔

そのあし

雅頷之腹

そのあし

そのあし

不芳

そのあし

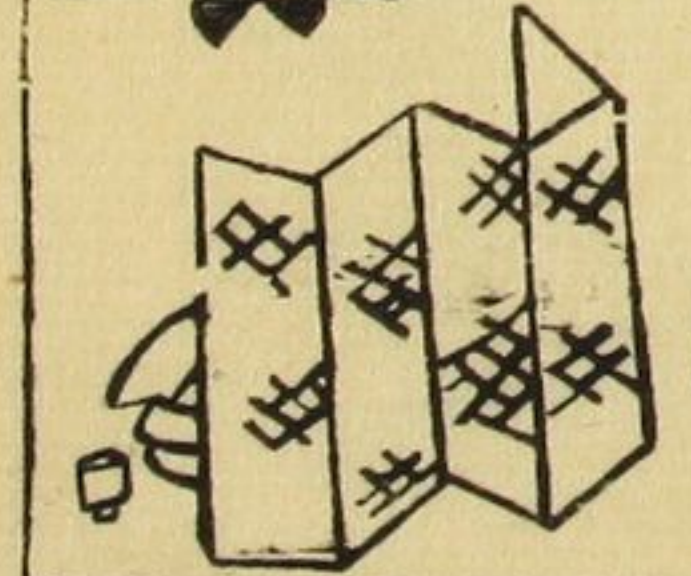
透倒氣色

そのあし

そのあし

病氣

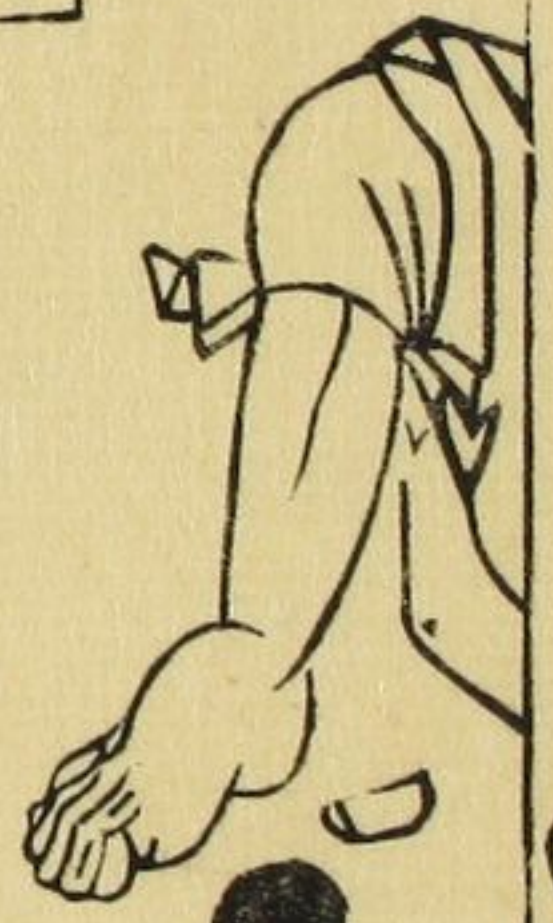
そのあし



頰痛腫物

ほつりまて

ほつりまて



日増

ひつりまて

血氣血使血全收養生也

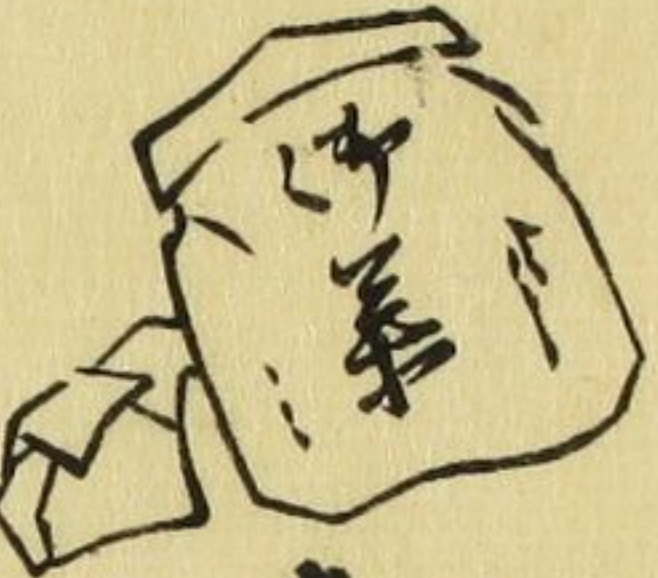
こあさるまう

まろくとむまろ

せとたのんこあま

法業

あやまう



血相血在後如

こあさるまう

あやまう

あやまう



祈禱

いのちまう



茶葉

あやまう

泰上伺公推系忍室不室

拙者私妻

あやまう

あやまう

あやまう

あやまう

あやまう

娘

あやまう



兄弟

あやまう



姉妹

あやまう

伯父

あやまう



叔母

あやまう



叔父

あやまう

甥姪孫 おひめいり



當孫 たがひ孫



早身孫の事いふはひとよあめりあめり

やーやど

玄孫 流智 後智 男 姪 孫

まごのまごあり

ちのちのちと云

まごのうりーん

まごのふがみり

よんふと云

養子 婿 嫁

やう

ひこ

むすめ

やるゑの子

かゝと云

うらと云

さうりーり

婿



まごのこつと云はせむ

まごのふと云

推察 推量 姪 入

婿 入

おひめりり

まごのまごあり



推 察 推 量

あひひと云

うらと云



迎 入 婿 内 是 身 妻 色

あつぐ

あつぐと云

あつぐと云

就 文 侮 乃 去 就 中 魚 外 俾

つづく

あつぐと云

あつぐと云

あつぐと云

後 息 也 考 妻

あつぐ

あつぐと云



考 妻 細

あつぐと云

あつぐと云

あつぐと云

あつぐと云

あつぐと云

具承知德勅丁寧入世念

及取及國安福安海新百

七頃痛入 手透空之

吾寸順穢甚以取込開發

吾人垂無遠急也物溜少斷
他仍 外出殘志

吾念同伴同道

由綉一涉低也新春年始



さそり

ひん

あつ

七四

あつ

あつ

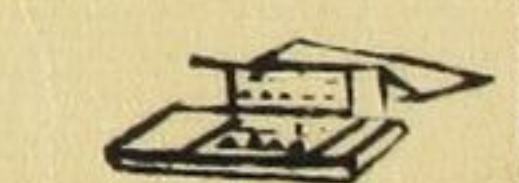
あつ

あつ

あつ



改年改曆



改曆

古慶古兆中納中籠不有

冬期際限休約中産力佳

例法嘉例祝儀加禱



上巳端午七夕八朔

重陽嘉祥玄猪歳暮

年尾節會觀式七種

雛 懺 星合



Vertical text on the left margin, including page numbers and small annotations.

魂柳精靈舎

魂柳精靈舎

七月のしきりきりきり



冥指

冥指



位杓初穂

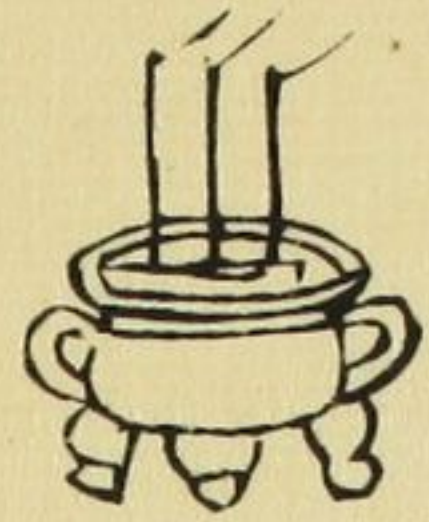
位杓初穂

七月のしきりきりきり



焼香

焼香



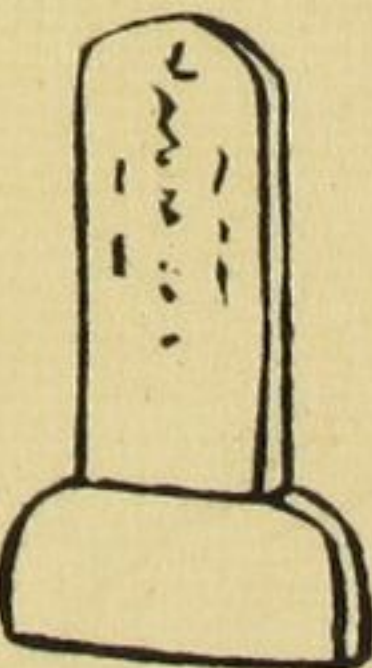
香煙

香煙



回向

回向



軌行配胎

軌行配胎

七月のしきりきりきり

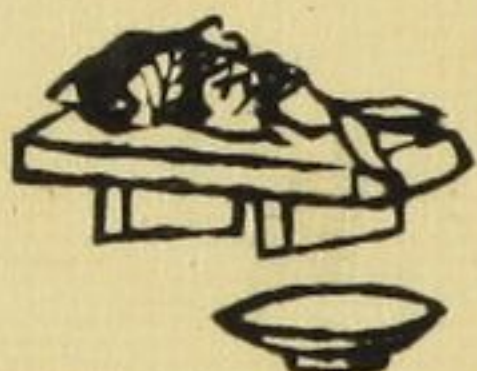


餐齋滝杓

餐齋滝杓

料理

料理



客

客



亭主

亭主



勝手取持給仕人

勝手取持給仕人

七月のしきりきりきり



世話取賄下働手借程

世話取賄下働手借程

七月のしきりきりきり

七月のしきりきりきり

物敷奇好物珍味貴玩

物敷奇好物珍味貴玩

七月のしきりきりきり

七月のしきりきりきり



好味酒宴



醍醐



沈酸尾籠者後忘却



面目



流石



恥後



菊端菊事穂使隠

密頼頼



希合悲得心

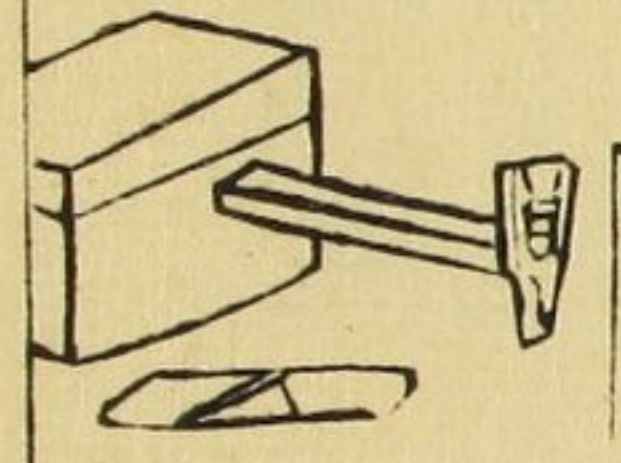
祚容透肖



何年偏入

裁重裁号是北と透る

内序刻



由披露



清拭成思る者不淺也

清拭成思る者不淺也

清拭成思る者不淺也

貴意



芳意方之楨

芳意方之楨

芳意方之楨

涉月



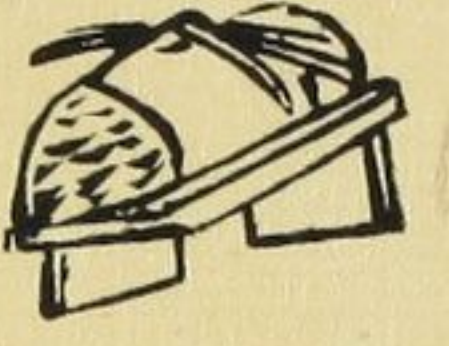
山意投紅勝中道

山意投紅勝中道

山意投紅勝中道

然上

然上



進上

進上



後中請別之發如何

後中請別之發如何

後中請別之發如何

後中請別之發如何

後中請別之發如何

發輝少

發輝少



睡微世少寸

睡微世少寸

睡微世少寸

睡微世少寸

志中半以隣別一入給

志中半以隣別一入給

志中半以隣別一入給

志中半以隣別一入給

志中半以隣別一入給

志中半以隣別一入給

行列

行列



貴

貴



後

後



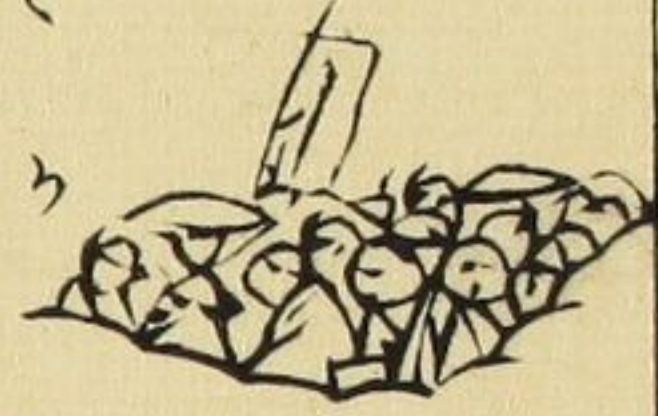
二

三

四

五

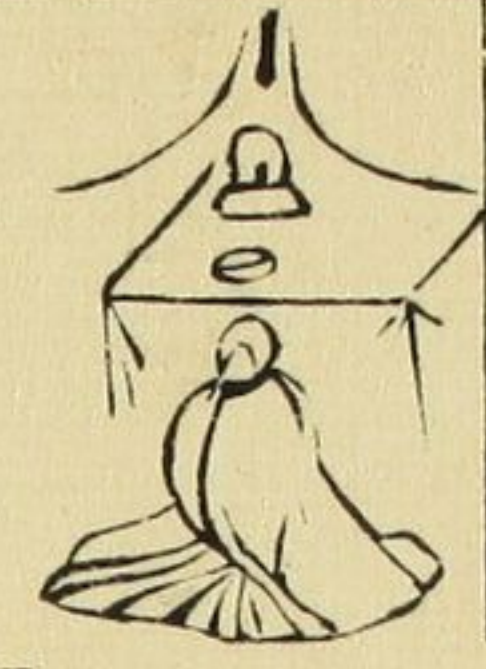
群集 ぐんしゅう



祭禮 さいらい



法事 ほふし



習所 しゅうじょ



麻拵 あしぢょう



由願不相替ふ取敢奠方 ゆげんふたがひあひあはせぬ

内室内儀妻 うちむろうちぎまよめ



妣 はは



烟市 えんいち



奉公出精嫁 ほうこうでしげ

烟拵 えんぢょう



猪梁能 いのりやう

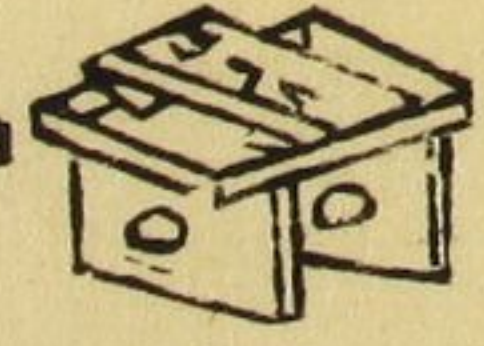


壹城 いちじょう



沖加増 おきかぞへ

由麻敷 ゆましき



由收替 ゆしうかへ



つゝあひのうららめ

あまのうららめ

あまのうららめ

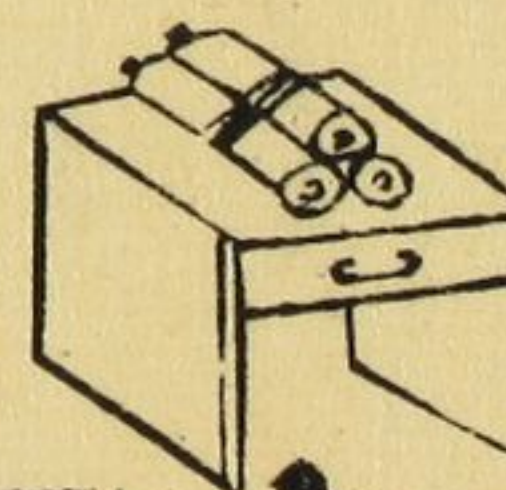
五月



家世

家世

後活券状系図



家柄

為は祝儀為は飲酒

一腰



沖馬一疋



頂

裁許順

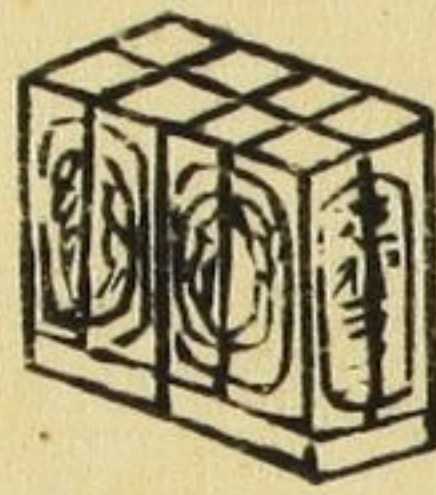


格者



二種

一荷



後育

信也後慶永日永湯

中迹中演中上怒憎

のちのち

と小舟

あそれあそ

アヒン

致不使不宣不具

上服付来今海中



所

考別考卷

返報返事返報返答

返書至函多故先大

概有增書記年

消息往來函抄

早引番世甚用	年代記 <small>中本 並二枚摺</small>	百人一首歌志多
早引字宝甚用	廢功記志多	女用文章歌志多
早引小本甚用	庭訓往來 <small>大本 中本</small>	女庭訓往來
大雜書三世相承	百姓往來	十分川 <small>子習水入</small>
子字文講沢 <small>中本</small>	高賣種米 <small>大本 中本</small>	女孝經傳沢入
料理本志形	道中記歌志多	手印何系 <small>子沢山出</small>

雜言討類 物語類 一代記物

此書共五十枚本冊後切物品之明細早分之物

東都本問屋 馬喰町四丁目 吉田屋文三郎板

山極屋
漢陽

